

## 会議議事録

会議名	2020年度第2回医療事務分野教育課程編成委員会
対象学科	医療秘書科・医療マネジメント科
開催日時	2021年2月25日(木) 14:00~16:00
場所	本校4階 406教室
出席者 (敬称略)	<p>① 企業等委員：須貝和則(国立国際医療研究センター医事管理課長)、梅里良正(有識者委員)、直井智之(東大和病院事務部長)、山室 靖(東京衛生病院医事課課長) (計4名)</p> <p>② 本校委員：橋本正樹(校長)、村山由美(医療秘書科学科長)、深澤由紀子(医療秘書科副学科長)、三宅かおり(医療マネジメント科学科長兼診療情報管理専攻科学科長)、江崎侑子(診療情報管理専攻科教員)、宮下明久(事務局長)、(計6名)</p> <p>③ 事務局：松本晋圭</p> <p style="text-align: right;">(合計11名)</p>
欠席者	なし
配付資料	<p>①事前送付：資料1：2020年度第1回医療事務分野教育課程編成委員会議事録案、 □資料2：2020年度第1回委員会以降の主な経過報告、□資料3：2020年主な内定先(2020年1月末時点)、□資料4：2020年度教育活動と学科運営に関する報告、□資料5：2020年度教員研修計画・実績、□資料6：2020年度後期授業アンケート結果報告、 資料7①：2021年度カリキュラム案 医療秘書科、 資料7②：2021年度カリキュラム案 医療事務IT科、□資料7③：2021年度カリキュラム案 診療情報管理科、□資料7④：2021年度カリキュラム案 医療マネジメント科(2020年度生)、□資料7⑤：2021年度カリキュラム案 診療情報管理専攻科</p> <p>②当日配付：職業実践専門課程スケジュール</p>
委員長	村山学科長
議題等	<p>1. 校長挨拶 橋本校長より、来年度に向けて医事系の学科を1年制、2年制、3年制に再編成した。これから実際の運用が始まるので、カリキュラムについて現場の視点からご意見をいただきたい、との挨拶が行われた。</p> <p>2. 前回委員会議事録の確認(説明者：事務局松本) 前回議事録(資料1)について、今年度より対象学科を明記したとの説明がなされ、その他については修正事項がないことを確認し、ホームページにて公開することが了承された。</p> <p>3. 2020年度第1回委員会以降の主な経過報告(説明者：宮下事務局長、事務局松本) 資料2、3に基づき説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。</p> <p>4. 2020年度教育活動と学科運営に関する報告(説明者：村山学科長、三宅学科長)</p>

資料 4 に基づき各学科の説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。

5. 2020 年度教員研修計画・実績（説明者：三宅学科長）

資料 5 に基づき説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。

6. 2020 年度授業アンケートに関する報告（説明者：橋本校長）

資料 6 に基づき説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。

7. 2021 年度生カリキュラム編成等について（説明者：村山学科長、三宅学科長）

資料 7①～⑤に基づき各学科の説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。

8. 今後の日程、その他

事務局より、当日配付資料に基づき職業実践専門課程の廃止・申請スケジュール、それに絡む教育課程編成委員会の開催、委員の任期と関連学科に関する説明が行われた。

また、次回日程については例年どおり 7 月に開催する予定。状況次第でオンラインも検討しているので改めて調整させていただく旨の事務連絡が行われ、閉会した。

以上

## 2020 年度第 2 回医療事務分野教育課程編成委員会の主な討議内容

### 3. 2020 年度第 1 回委員会以降の主な経過報告（資料 2、3）

○宮下事務局長、事務局松本より資料 2、3 に基づき以下の報告が行われた。

#### 1. 学校関係者評価関連

#### 2. 学生の状況関連

##### (1) 退学の状況

##### (2) 就職内定の状況

##### (3) 2020 年度 2 年次コース選択状況

#### 3. 2020 年度授業アンケート

- ・今年度からウェブでの回答に変更した。

- ・前期は新型コロナウイルスの関係で授業進度にばらつきがあったので、試行として専任教員のみで行った。後期は例年どおり原則として全授業を対象に行っている。

#### 4. 2021 年度学生募集関連

### 4. 2020 年度教育活動と学科運営に関する報告（資料 4）

#### ◎医療秘書科

○村山学科長より資料 4 に基づき以下の説明が行われた。

##### 教育活動

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため多くの行事を中止とした一方で、オンライン AED 講習など、無理のない代替を意識して活動を行った。

- ・検定結果については、1 年生は 11 月検定を目指して進めていたこととオンライン授業も順調に進んだことで、前年を超える取得率となった。

##### 学科運営

- ・授業及び個人面談をオンラインを積極的に利用して実施した。

- ・5 月中旬からの週数日のオンライン授業、それに続く分散登校の併用で、生活習慣や自宅学習の習慣、自己管理能力が培われたことを実感した。

#### ◎医療マネジメント科

○三宅学科長より資料 4 に基づき以下の説明が行われた。

##### 教育活動

- ・資格取得状況：コロナ禍で受験機会が半減したが合格率は下がらず、よく健闘したと思う。医療秘書検定の 2 級、医事コンピューター検定の 3 級は目標を大きく上回った。

- ・インターンシップ：新型コロナの影響で 1 月開始となった。

##### 学科運営

- ・オリエンテーション、個人面談をオンラインで実施した。対面時より緊張感が少ないせいか率直な意見交換ができ、対面での面接と比べても遜色はなかった。

#### ◎診療情報管理専攻科

○三宅学科長より資料 4 に基づき以下の説明が行われた。

##### 教育活動

・資格取得状況：医療情報技師能力検定試験は中止。11月に行われたがん登録実務初級者認定試験は合格率が100%となった。

・管理士実習：実習は中止となったが、医療機関の診療情報管理室に勤務している卒業生に來校してもらい、模擬実習を取り入れた。非常に評判がよかったので来年度管理士実習が行われたとしても、継続する予定である。

#### 5. 2020年度教員研修計画・実績（資料5）

○三宅学科長より、資料5に基づき以下の説明が行われた。

・上期は中止となった研修が多かったが、後半は対面に加え、オンラインやオンデマンドが増えてきた。医療秘書学会もオンデマンドで視聴することができた。今後学会や研修の在り方が変わってくると、参加できるものが増えてくる可能性がある。

#### 6. 2020年度授業アンケートに関する報告（資料6）

○橋本校長より、資料6に基づき以下の説明が行われた。

・今年度からウェブを使ったアンケートに変えた。前期はコロナ禍で対面授業が十分できていなかったため、常勤教員のみを対象とし、後期は兼任の先生方も含めて全教員を対象に実施した。

・評価は4段階とし、自由記述も含め各教員にすぐにフィードバックしている。

・アンケートの結果を受けて、常勤教員にはコメントシートを提出してもらっている。今後は兼任の方にもなるべく出してもらおう形にもっていき、教育の改善に生かしていきたい。

#### ○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
<p>①研修はどのように選ばれているのか。</p> <p>②自分の教育との関連や有用性を申請して、認められれば受けられる形か。</p> <p>③教員一人一人の履歴は記録として残っているか。</p> <p>教員ごとのポートフォリオを作っておくと有効かと思う。</p> <p>現役の卒業生を招聘した学内実習は、どのようなことを行ったのか。</p>	<p>①学校に案内があった場合は、学内の連絡システムや掲示を利用して情報を流している。自分で探してきたもの、所属長から勧められるものもあるので、本人の希望ベースで受講している。</p> <p>②受講目的、研修テーマ、内容を書いて申請し、所属長が承認する。受講後は報告書を出す形になっている。</p> <p>③学科ごとにまとめて、閲覧できるようになっている。学校全体では教務委員会が一覧にしてまとめている。</p> <p>検討したい。</p> <p>最初に業務の説明や総合病院、大学病院で働くメリットについて話をしてもらった。その後簡単な業務の体験として、カルテ監</p>

<p>①コロナ禍で就職活動も制限されたと思うが、どのような状況だったのか。</p> <p>②病院はコロナと隣り合わせであり、就職に当たってもいろいろな考え方があ。難しい問題が出てきたと感じている。</p> <p>学生はオンラインに慣れてくるが、病院では対面でのコミュニケーションも必要になる。その辺をどうバランスを取っていくのか。</p> <p>病院見学などもオンラインのほうがやりやすいか。</p> <p>病院でもウェブ会議、eラーニング、電子決済が始まっている。その中でどうコミュニケーションを取るかという学習スタイルに変えていかないとけない。</p> <p>新設された医療事務IT科と診療情報管理科は、実際にどうということをするのか。</p>	<p>査、NCDの登録、がん登録、診断書の作成などをグループワークの形で行った。職業イメージが付き、就職活動の面でも貴重な体験になった。</p> <p>①病院事務系の求人人数は増えた。職種別では医事、クラーク、管理士、医師事務は例年より少し多く、調剤事務は大幅に多くなった。</p> <p>②コロナ禍でも学生自身の病院で働きたいという意識は変わらなかったとみている。</p> <p>対面に勝るものはないと思う。ただ、学生はオンラインでのコミュニケーションには慣れており、オンラインの方がチャットによる発言が活発であり、学生にとっては教員を身近に感じられる面もあるのではないか。</p> <p>今回、実習の代替授業で病院に取材に行き、普段は入れない内部にも入室でき、説明もしていただけた。動画教材は、実習先による差がなくなり一定のレベルが保てるので、今後も研究していきたい。</p> <p>ご意見として承った。</p> <p>医療秘書科との違いを分かりやすくしてすみ分けをした。ICT技術を強化して、使える人材として送り出したい。</p> <p>データ分析については、データの拡大を図っていきたい。</p>
--	--

7. 2021年度生カリキュラム編成等について（資料7）

◎医療秘書科

○村山学科長より、資料7①に基づき以下の説明が行われた。

- ・前年行ったカリキュラム改編の検証として補足をさせていただきたい。1年生の基礎科目に配置している「メディカル・ホスピタリティ」についての学生の感想は、前期に学んだ一般的な「ホスピタリティ」を、自分の将来の職種に当てはめてどう発揮したらよいかを再認識できたとの感想があり、狙いは達成できたと捉えている。2年生の専門科目「カルテ読解Ⅰ・Ⅱ」は病歴とカルテの内容をイメージして結び付けられることを到達目標に掲げたが、「基礎医学概論」「臨床医学」「病院医療用語」を踏まえた総合学習、検定対策を行うことにより、科目ごとに完結しがちなものが統括できたとの感想があった。狙いは達成できたと考えている。
  - ・専門科目の中に「医療コンシェルジュコース」を新設した。2年後の科目になるが、前回、現場とマッチしているとお墨付きをいただいたので、より良い学びを提供できるよう研究を進めていきたい。
- 三宅学科長より、資料7②～7⑤に基づき以下の説明が行われた。
- ・前回の委員会で説明した時点と科目の構成はほぼ変わっていない。

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
<p>医療秘書科の共通科目に「レセプトチェック」があるが、チェックソフトを用いて、練習するような内容か。</p> <p>現場では、レセプトチェックは中堅クラスの仕事になる。この薬を使ったら、この病名がなければだめだという覚え方ではなく、適正な病名が診療録から読み取れないとか、適応外の薬を使用している等々を医師に対して言えるぐらいまで理解させると成長すると思う。</p> <p>2022年度のカリキュラムの決定に向けて、こういうところをもっとやったほうが良いというアドバイスをいただきたい。</p>	<p>ソフトは使っていない。人間の目でレセプトを見て、病名に対して、薬剤、検査等が適切かをチェックしている</p> <p>そこも踏まえて「カルテ読解」の授業の中に盛り込んでもらっている。</p> <p>医療法が変わり、医療関係職種のタスクシフトが行われる。AIも含めた環境の変化を見学などで見せておくことが大事。</p> <p>今後、病院の機能分化が進む。この病院は何でお金を得ていくのかというマネジメントの部分もあるとよい。ポストコロナで医療が変わるので、最先端の部分を学べるようにしたほうがよい。</p> <p>コロナが終わったときにリセットが起こるような気がする。医師の高齢化、人口動態の影響をかなり受ける環境下に入るのので、昔のように患者さんをいっぱい診て、いっぱいレセプトを作るといふ医療からは脱却しているのではないか。</p> <p>30代、40代、定年を迎えたシルバー人材</p>

<p>学生は事務職で就職することを目指している。これからは情報系に強く、経営に関われるような人材教育をしないと難しいと感じた。</p> <p>できれば課題研究のゼミのようなものをやりたいと思っている。</p> <p>医療安全の観点からいうと、薬剤師が電子カルテのデータ分析をしているところもある。</p> <p>学年、学科別にどんな資格に何人が合格して、昨年比でどう変化したかという表があるとよい。</p>	<p>を再教育して送り出す道もあるのではないか。</p> <p>自分は患者の対応だけに専念したい、事務的なものは診療情報や医師事務でやってほしいという医者も出てきている。</p> <p>事務の管理職的なところは大学教育がやっている。ここはもっと現場寄りの教育をしたほうがよい。</p> <p>既存のシステムの一部を変えるだけで安全性が高まったり業務の効率がよくなるものがある。ITを活用してそういうものを作れる人材を育てるカリキュラムが入っているとよい。</p> <p>病院で役立つ分析の仕方などをチームで競わせたりすると面白い。</p> <p>それは医師事務にやってもらえるとよい。</p> <p>対応したい。</p>
---	--

以上